

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2020年8月②号

## 終戦75周年 終戦記念宣伝

今年も浜田府会議員と一緒に、北野白梅町と上賀茂神社前で宣伝しました。私は主に2つのこととお話ししました。日本がアジア諸国を侵略したことへの反省と従軍慰安婦や徴用工問題で、人権を無視したひどい労働行為などをさせたことへの補償を先に延ばしていることを批判し、躊躇することなく、日本政府としての心からの反省と謝罪をすべきこと。2つ目は「核兵器禁止条約」について、2017年に国連で採択されましたが、日本はまだ批准していません。唯一の被爆国である日本がなぜ、率先して批准し、世界に呼びかけないのか。批准する政府をつくる必要があると訴えました。「核兵器禁止条約」の発効には50か国以上の批准が必要で、現在44か国です。何としても、日本も批准させたいです。

憲法9条の改悪に執念を燃やす安倍政権を一刻も早く倒し、市民と野党の共同で新しい政治の扉を開きましょう！



8月15日、炎天下で訴える玉本なるみ市議（左）、浜田よしゆき府議。

## 京都市パートナーシップ宣誓制度に対して申し入れ

9月から実施のこの制度は、大事な制度ですが、同性カップルとしてカミングアウトすることになります。申し入れでは宣誓していなくても、市営住宅の入居対象にする事、京都市が率先して、市職員に対して、家族手当や育児休暇などを行うよう求めました。



担当部長に申し入れ書を渡す玉本なるみ市議（中央）

**つぶやき：一人暮らしを考える。** 大阪の母は、父が亡くなり一人暮らしをしています。私の妹が自転車で15分ぐらいの所に住んでいて、週3回～4回は訪問し、食べるものなども調達しお金の管理もしてくれています。デイサービスを週3回利用しており、物忘れが進んでいますが、なんとか一人暮らしをしています。お盆には私がいる間、ずっとしゃべっていました。しかも同じことを繰り返し……。さみしくないかと聞くと、「大丈夫やで」と言っていました。もし自分も一人になれば、寂しいだろうなと思いました。頻繁に顔を見に来たいと思っても、往復4時間近くかかり、再々は行けないのが現状です。やっぱり近くに居るのって大事だと実感します。



「母のデイサービスの作品。ほしかったら持って帰りと言われましたが、もらわず帰りました。もらった方がよかったかな……」

ゆくゆくは舞鶴に嫁いだ娘の近くに引っ越ししようかと自分の心配をしている私です。まずは母のことをもっと考えないと……。

## アンテナ

ALS患者Tさんのこと

（下）

進行性の難病ALS患者の林優里さんの囑託殺人は大きな波紋を呼んでいます。京都新聞に連載されていました記事に興味深く読みました。岡本記者は実際にボランティア活動をされた経験を元に記事を書いており、介護現場の実態がよくわかる記事でした。

介護ヘルパーの24時間体制は取られていたようですが、しゃべれなくなると、50音の透明版を読み取り、会話するので、慣れないと難しいものです。したがって、慣れた方がなるべく、少人数でチームを組んでいくことが、介護する側も患者さんもコミュニケーションが取りやすく、安心につながります。それが、なんと彼女のケースは17の事業所のヘルパーによる入れ替わり立ち替わりの体制であったようです。

介護ヘルパー不足や体制の脆弱さが彼女の「死にたい」に繋がったのではないかと、うと、社会や政治が解決できる問題だっただけ負う医師がいることは許せませんが、命の大切さをもっと社会で支えていくことが求められるし、私ができることをしていきたいと思えます。政治家として……。とりわけ、精神面での支援が必要な病気で、患者さんの心も揺れ動きます。岡本記者は、関わった方の「死にたい」という言葉を本心と思わなかったと語っています。もっと、福祉の充実と医療や福祉の専門性を高めることに力を注ぐことを求めていきたいと思っています。

